

あまがさき 市議会だより

Vol.152

令和7年(2025年)2月1日

発行:尼崎市議会

編集:尼崎市議会だより編集委員会

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

☎06-6489-6112(議事課) ☎06-6489-6105

✉️ ama-gkaidayori@city.amagasaki.hyogo.jp

市議会の情報はホームページで
ご覧いただけます。

尼崎市議会

検索



消防出初式(1月12日、中央中学校にて)

第24回定例会

市立休日夜間急病診療所の設置及び 管理に関する条例を可決

第24回定例会は、12月3日から18日までの16日間の日程で開催し、市長からは専決処分報告1件、条例案5件、補正予算案7件、その他の案件19件、人事案件2件、議員からは意見書案1件の提出があり、計35件を審議しました。そのうち、その他の案件1件は議案の撤回後、改めて提出があり、審議しました。また、陳情2件の提出があり、継続審査中の案件を含め計6件を審議しました。主な可決議案は以下のとおりです。(採決結果は7面に記載)

- 都市美形成条例の一部改正
- モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)

目次

■一般質問	2～5
■意見書	6
■議会の動き	6
■採決結果一覧表	7
■委員会活動報告	8
■議員による出前授業を実施	8
■常任委員長および副委員長の選任...	8
■ご意見を	8
■編集後記	8
■今後の議会の日程	8

Q&A 一般質問

第24回定例会の一般質問は、12月4日から6日に行い29人の議員がそれぞれの立場から、市政全般にわたり事務の執行状況や将来の方針・計画などに関して、市当局にその見解を求めました。質問者と主な質問・答弁は、次のとおりです。



公明党

藤野 勝利



災害対策について

問 子供の熱中症対策、市民の命と財産を守る防災の観点から、避難所となる学校体育館の空調設備の早期導入を幾度となく求めてきたが、市長は早期着手を決断し、1校でも早く導入するために、どう計画的に進めていくのか。

市長 近年の猛暑や頻発する災害、近隣自治体の状況も踏まえると、もはや待てないことから事業着手が必要と判断した。部活動等で使用頻度が高い中学校・高等学校から計画的な整備を検討し予算化に向けた調整を進めていく。

公明党

福島さとり



デマンドバス等の新たな移動手段の導入について

問 路線バスが減便される中、新たな移動手段の導入について早期に着手すべきと考えるがどのように進めるのか。

都市整備局長

尼崎市総合交

通計画においてAIオンデマンド型交通など新たな交通サービスは運転士不足、ライフスタイルの多様化等、社会情勢が変化する中、本市の路線バスを補完するツールとして必要であると位置付けている。来年度の実証運行を目指し、予算計上、事業者選定を並行して進めている。

日維新の会

松岡 洋司



琴浦通りにおける尼宝線から武庫川までの区間の歩道の整備について

問 当該区間の歩道整備について、どのような調査、検討を行い、今後どのように進めていく予定なのか。

都市整備局長 当該区間の歩道整備は、車道北側に植栽帯がある区間で歩道設置の予備設計として測量および土質調査、擁壁の構造の検討を実施している。また、令和6年6月からは歩道設置の影響を受ける地先住民などへの意向確認も進めている。現時点では歩道設置が可能と見込んでおり来年度以降、詳細な設計を進めていきたいと考えている。



市民グリーンクラブ

都築 徳昭



県知事選挙と公職選挙法について

問 複数の候補者を擁立し他の特定の候補者を支援することとは公平性の観点から問題ではないか。また、そのことを防止する条例の制定は可能か。

選挙管理委員会委員長 自らの当選を目的としないことは本来あり得ないとの想定で公職選挙法等は制定されており、判例では他の候補者の選挙運動はできないと示されている。ビラ・選挙はがき等に他の候補者の氏名を記載することなどは氏名類推に当たり公職選挙法違反の可能性がある。また、公職選挙法において制限されていないものを条例で制限することは条例の趣旨にないと考えている。

市民グリーンクラブ

綿瀬 和人



地域団体のごみ収集について

問 市民団体が主催するイベント等のごみは事業系ごみとして多額の費用が発生しており、無料回収も含めた検討が必要と考えるがどうか。

経済環境局長

指摘の事業系

ごみは主催者自らの責務で処理する必要があるが、処理を委託する場合は民間の許可業者に依頼してもらっているが、自治のまちづくりを進める本市としては、地域主催の住民交流等を目的としたイベントで発生したごみはその地域で生活する住民が捨てたものであることから、他都市の事例も参考に無料回収も含めた後方支援策について地域課と協議していきたいと考えている。

蒼風会

鷺田 真緒



自治体との食の連携について

問 食の連携に当たり近隣のみならず奄美群島との連携も視野に入れてほしいがどうか。

吹野副市長 本市には奄美群島の出身者が非常に多く居住しており、これまでも奄美地方のさまざまな行事・イベントが市内で開催されるなど歴史的にも本市との関係性が深い地域である。現在も奄美群島とのさらなる交流の発展に向け、奄美群島内の市町村とも意見交換を図っており双方のニーズ等を確認していく。



蒼風会

丸岡 鉄也



城内地区まちづくり計画について

問 阪神電気鉄道株式会社のレンガ倉庫はれんがの保存・活用の指導とともに解体後、尼崎城との調和に配慮した新ビルとなるよう市長からも強く申し入れてほしいがどうか。

経済環境局長 レンガ倉庫の存在を後世に伝えるような赤れんがの保存・活用等について本市として要望を伝えていくところであり、れんがの一部を歴史博物館で保存し展示することも考えている。新ビルについては、なまこ壁や白壁といった尼崎城と親和性の高い外壁にするなど景観との配慮についても要望していく。

公明党

中村 敦子



環境問題の取組について

問 公共施設に回収ボックスを設置しエコキャップ運動に積極的に取り組んではどうか。

経済環境局長 エコキャップ運動は、さまざまな企業や団体で取り組まれており、本市においてもリサイクル意識の向上や燃やすごみの減量に寄

与すると認識している。市民の声も踏まえエコキャップを回収している店舗等の情報を市ホームページ等で広く発信するとともに公共施設への回収ボックスの設置も庁内外の関係機関と協議していきたい。

みどりの来

田中 淳司



インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援・防止について

問 市民が被害者にも加害者にもならないために、市の責務と市民等の役割を明確にし、インターネットの負の側面から市民を守るための条例が必要と考えるがどうか。

総合政策局長 尼崎市人権文化いきづくまちづくり条例および同条例に基づく計画では、インターネットを悪用した人権侵害の項目を定め、悪質な書き込みへの削除要請などを実施しており、新たな条例制定ではなく、当該条例および計画に基づく各種施策を通じて、人権侵害を受けることのない取り組みを進めていく。

市民グリーンクラブ

明見孝一郎



産業構造の変化に対する対応について

問 今後も物流施設は増加し大型車の路上駐車の問題は深刻化すると考えるが問題解決に向けてどう進めていくのか。

市長 路上駐車の問題は、行政だけではなく物流業界や運送業界を巻き込んで整理すべき課題が多くあり、また県道を所管する県とも連携が必要を取り組みであり、時間をかけて検討していかなければならない課題と考えている。今後さらなる実効的な対策を関係機関や業界とも意見交換しながら検討・模索をしていきたいと考えている。

蒼風会

林 久博



本市の防災対策について

問 災害時における高齢者や障害者の安否確認について、現在の取り組みと課題は何か。

福祉局長 避難行動要支援者の安否確認は、人工呼吸器装着者や家屋倒壊等氾濫想定区域等の災害リスクの高いエリアに住む方などに市職員が直接確認を行うとともに、地域の安全確認ができた段階において民生・児童委員や自主防災会等の避難支援等関係者にも連携し確認するが、激甚災害では多くの市民や行政も被災し避難行動要支援者への迅速な確認が困難な場合も想定

され課題と認識している。

無所属

西田 兼治



憲法と地方自治について

問 多文化共生を掲げ、差別や偏見と闘い続けてきた本市は、憲法の理念を踏まえて今後、何に取り組むべきと考えているのか。

総合政策局長 本市では令和2年に尼崎市人権文化いきづくまちづくり条例を公布、施行し、その条例を受けて令和3年に策定した計画では、学校園等や地域、事業者への人権教育や人権啓発、また市職員・教職員等への人権研修を推進するとしている。多文化共生を推進するに当たり人権文化が社会に浸透し互いに多様性を認め合い暮らしやすいと実感できるまちとなるよう取り組みを進めていく。

蒼風会

津田加寿男



行財政

職員の質とモチベーションの向上について

問 施策評価について、本来の目的である改革・改善に十分につながっていないのではないかと。評価のポイントや視点を全庁的に十分に周知徹底できているのか。

総合政策局長 各部局で施策評価の振り返りを行う中で、達成度合いや課題の共有、改革・改善も含めた目指すべき方向性の確認、決算審査での意見等も踏まえた課題への取り組みなどを庁内で議論し具体化につながったものを次年度予算の主要事業の項目の中などで示しているところである。引き続き、PDCAサイクルの核である施策評価に対する意識を高め、今後も改革・改善につなげていく。

維新の会

寺井 大地



市長会有志による表明について

問 市長会有志で発表した声明文の意図や目的は。また、それに対する市民の意見や反応をどう受け止めているか。

市長 市長会有志による表明は選挙終盤に期数の多い市長の声掛けで行った。私自身、稲村和美氏を支援してきた立場であり県内各市長に応援依頼の声掛けをしていた関係上、断る理由はなく名前を連ねる会見にも同席した。こうした行

為に多くの意見もあり不快に思われた市民の皆さまに迷惑をかけたと思っている。選挙結果を踏まえ市政の発展を中心に据え県政、日本社会全体の発展に向け仕事をしていく。

青雲の会

佐野 剛志



県知事との今後の向き合い方について

問 真実が明らかになっていない状況で行われた今回の選挙の結果を踏まえ、市長はこの先、県知事とどのように向き合っていくのか。

市長 今回の県知事選挙の結果を受け止め県政との連携を図りながら市政の発展に努めていく責務があると考えている。選挙後に開催された県・市町懇話会で、双方がコミュニケーションを密に図っていくことについて県知事に思いを述べたところであり、引き続き市政の発展を中心に据え、全力で職務にまい進していく。

日 本
維 新 の 会

高谷 浩司



未収債権について

問 令和5年度の決算審査意見書の内容を受けて、各債権の目標値をいつまでにどのように見直すべきだと考え、ど

のように対応していくのか。

吹野副市長 監査委員から第2次尼崎市債権管理推進計画に定める特定債権の収納率の目標設定を必要に応じて見直すべきとの厳しい意見があり、目標設定については精査すべきと判断し、今年度から来年度にかけてあらためて債権ごとに滞納分析を行い、各債権の状況に応じた的確な目標を設定できるかどうかを十分に検討した上で、計画の改定を予定しているところである。

公明党

中尾 健一



物価高対策と地域経済活性化に有効な「あま咲きコイン事業」について

問 あま咲きコイン事業の継続を検討するに当たり、他の事業との優先順位をどのように評価しているのか。

総合政策局長 あま咲きコインは全庁的なポイント制度の集約効果など市の施策推進に寄与する事業と評価している。一方、一般財源以外の財源がなければ物価高騰等の影響を受ける市民や事業者への支援や多額の予算を伴うキャンペーンの実施が困難などの課題もあるが事業の仕組み自体は市の施策推進ツールとして有効であり現時点で最大限活用

する必要があると考えている。



教 育

日本共産党
議員 団

山本 直弘



子供たちのメディアリテラシーについて

問 子供たちのメディアリテラシーを高めるために、どのように取り組んでいくのか。

教育次長 市立小中学校においては国語や技術および道徳等の教科、総合的な学習などの中で情報モラル、メディアリテラシーについて学んでいる。教科のほか専門的知識を有する支援員による情報モラル教室や招いた講師による講演会の実施等により規範意識も含めた育成に努めている。今後さまざまな機会を通して、児童生徒がさまざまなメディアの特性を理解し、正しく効果的に活用できる力を育成できるよう取り組んでいく。

公明党

東浦小夜子



奄美群島との交流事業について

問 本市と奄美の子供たちの教育交流を進めてほしいと思

うがどうか。

吹野副市長 都市部である本市で育った子供たちが奄美の自然や文化、伝統などに触れることは自然を大切にし、伝統と文化を尊重することなどにつながるかと考えており、現在、本市の生徒が奄美を訪れる体験事業の予算化の検討を奄美群島広域事務組合と進めている。多様な視点や価値観で物事を見詰める意識や社会性、豊かな人間性を育むため、同年代の子供たちとの交流も盛り込みたいと考えている。

市民グリーン
クラブ

須田 和



教職員の働き方について

問 スクールロイヤールの配置による困難事案対応の負担軽減についての効果はどうか。

教育次長 今年度から週1日勤務のスクールロイヤール2名が合わせて週2日教育委員会に配置され、過度な要求を繰り返す保護者への対応、生徒によるSNSでの誹謗中傷や動画配信等に係るトラブルに適切な助言をいただいている。学校は状況を正確に把握、冷静かつ迅速に対応し事案の複雑化、深刻化を防ぐことができており、時間的、心理的に教員の負担軽減にも大いにつながっている。

日 本
維 新 の 会

辻 信行



小学校の早朝開門について

問 本市でも小学校を早朝開門し、体育館などで受け入れることを検討してはどうか。

教育次長 小学校の早朝開門は保護者の負担軽減の解消などにつながる一方で児童の安全確保の課題もあると認識している。まずは、一部の他都市で始めている先行事例の効果や課題を注視していくが、早朝登校時の保護者の付き添い、登校後の見守り体制の構築および学校施設の管理に伴う財源の確保など、多岐にわたる課題があり現時点では導入は困難であると考えている。



福祉・医療

公明党

真鍋 修司



5歳児健診の創設について

問 発達障害の可能性を見極めるために有効な5歳児健診を国に先行して取り組むべきと考えるがどうか。

吹野副市長 5歳児健診の実

施に向けては、児童発達の専門職の確保が困難であること、発達課題を認めた子供に対する事後フォローアップ体制の充実が重要とされていることから各関係機関との連携・協議および多額の財源が必要であることなどの課題を解決しなければならぬことから、国からの情報や他都市の状況を踏まえ、本市にふさわしい実施方法を検討していく。

日本共産党
議員団

松澤 千鶴



介護保険について

問 訪問介護事業所は重要な社会基盤の一つと考えるが市の認識はどうか。

福祉局長 本市では地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおり、訪問介護事業所は介護が必要になった高齢者にとって住み慣れた地域で居宅生活を送るために、なくてはならないサービスと認識している。加えて、本市の訪問介護サービスの利用は全国・県平均よりも高く、重要な社会基盤の一つと考えている。



みどりの
来

迫田 敬一



処方箋医薬品の不足について

問 市民への残薬調整の推奨の強化や、薬剤師会と協力して医薬品の在庫管理を行うなど、処方箋医薬品の不足への対策が必要と思うがどうか。

吹野副市長 国は自店舗で供給困難な薬局に、系列店舗や地域連携により医薬品の供給調整を行うよう協力を求めている。市内では複数の薬局がグループをつくり医薬品を融通し合う取り組みが行われている。市としては薬剤師会とも協力し、さらなる促進とともに、自宅に残っている薬は医療機関と相談し有効活用するよう周知していきたい。

公明党

開 康生



介護予防について

問 次期介護保険事業計画へ向け、これまで以上に介護保険料の上昇抑制の対策等が必要と考えるが見解はどうか。

福祉局長 フレイル対策の3つの柱である運動・栄養・社会参加の要素を複合的に取り入れつつ効果的な介護予防の取り組みをさらに充実させる

とともに、保険料収納対策の強化や介護事業所への実地指導などの介護給付の適正化等の取り組みに加え、全国市長会などの機会を通じた国費負担割合の引き上げ要望も継続して実施し、介護保険料の急激な上昇の抑制に努めていく。

公明党

蛭子 秀一



動物愛護行政について

問 市民への動物愛護周知啓発を市報もしくは市報への折り込みチラシなどで行うべきと考えるが市の見解はどうか。

吹野副市長 今年度はバスラッピング広告による啓発のほか、武庫まつりに出店し小さな子供を含む幅広い世代に向け、適正飼養の啓発等を行ったが、今後は提案の市報への掲載や地域イベントへの参加などを通して、より多くの市民に動物愛護への理解や関心を高めていただけるよう、さまざまな啓発手法を検討し、実現できるよう努めていく。

日本共産党
議員団

真崎 一子



生活保護世帯の熱中症予防について

問 国の政策を待つのではない

無所属
池田 りな



周産期のグリーフケアについて

問 グリーフケアを行うための職員研修や流産・死産をした母親が利用できる産後ケア施設が必要と考えるがどうか。

吹野副市長 職員研修は今年度末実施予定でありグリーフケアへの理解を深め支援の充実を図っていく。また流産や死産等を経験した方には、主に自宅で助産師によるケアを実施しているが産後ケア施設での対応は母親と共に乳児が来所するため利用しづらい環境と考えられ、グリーフケア専門の産後ケア施設として当事者が利用できるよう現在当該施設と調整を行っている。

日本共産党
議員団

長崎 くみ



認知症対策について

問 認知症のケア技法であるユマニチュードという言葉の普及に向けてプロモーションを行ってほしいがどうか。

福祉局長 本市では認知症の方への接し方を学べる取り組みとして認知症サポーター養成講座などを実施している。また、ユマニチュードと同様に認知症の方の視点や立場に立つて物事を理解して対応するバリデーションなどのケア技法について、市ホームページ等での周知・啓発を行いユマニチュードを含めニーズに応じたより効果的なケア技法の講座開設等を調整していく。



意見書を総務大臣に提出しました

公営競技納付金制度の廃止に関する意見書

モーターボート競走事業施行者は、健全な事業運営を実現するために不断の努力を続けており、各種業務効率化による開催経費の削減等、諸施策を積極的に推進し、事業の安定性を確保するために全力を尽くしているところです。

公営競技納付金制度は、昭和45年度に創設されたものであり、これは、当時、公営競技の収益が著しい増加を示し、公営競技を実施する施行団体と非施行団体との行政水準・財政力の不均衡が問題となったため、公営競技収益の均てん化を目的に、10年間の時限措置として導入されたものでありますが、その後、累次にわたり期限延長され続けている状況です。

地方公共団体の社会資本整備のための貸付利率の利下げ財源として、モーターボート競走事業施行者が、今までに地方公共団体金融機構に納付した金額は、約6千億円にものぼり、他の公営競技施行者のものを含めた地方公共団体健全化基金積立金額は、約9千億円以上と膨大な金額となっております。そして、更にここ数年は、基金への積立も行われるなど、十分に所期の目的は達せられたと考えられます。

今後も健全な事業経営のために、ボートレース場等の大規模施設改善や、大規模災害への備え等に係る内部留保の拡充を行う必要があるほか、ギャンブル等依存症対策や、カーボンニュートラルなどといった新たな社会課題に対応する事業費の確保も必要となってきております。

よって政府におかれては、公営競技納付金制度を廃止するよう強く要望いたします。

議会の動き

（令和6年11月1日から
令和7年1月31日まで）

【11月】

11日▽健康福祉委員会

13日▽光本圭佑議員による日本維新の会の政務活動費の

不可解な入出金等に係る調査特別委員会

14日▽議会だより編集委員会

18日▽総務委員会

25日▽光本圭佑議員による日本維新の会の政務活動費の

不可解な入出金等に係る調査特別委員会

26日▽会派代表者会

▽議会運営委員会

29日▽議会運営委員会

【12月】

3日▽議会運営委員会

▽本会議

▽予算特別委員会

4日▽本会議（一般質問）

5日▽本会議（一般質問）

6日▽本会議（一般質問）

10日▽議会運営委員会

11日▽総務委員会

▽文教委員会

▽予算特別委員会（分科会）

12日▽建設消防防災委員会

▽予算特別委員会（分科会）

13日▽健康福祉委員会

▽経済環境企業委員会

▽予算特別委員会（分科会）

17日▽議会運営委員会

18日▽予算特別委員会

▽議会運営委員会

▽本会議

▽予算特別委員会

▽健康福祉委員会

▽総務委員会

▽予算特別委員会（分科会）

▽議会だより編集委員会

【1月】

10日▽光本圭佑議員による日本維新の会の政務活動費の

不可解な入出金等に係る調査特別委員会

14日▽議会改革検討委員会

20日▽議会だより編集委員会

21日▽議会運営委員会

23日▽総務委員会



採決結果一覧表（第24回定例会）

区 分			結果	公明 党	日本 維新の 会	市民 クラブ	蒼 風 会	議 日 本 共 産 党	青 雲 の 会	み ど り の 未 来	無 所 属 （ 光 本 議 員 ）	無 所 属 （ 西 田 議 員 ）	無 所 属 （ 池 田 議 員 ）	付託委員会
				(12)	(6)	(5)	(5)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	
報告	報告 第 3 号	専決処分（一般会計補正予算（第8号））	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総 務
	議案 第 90 号	市立休日夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
条例	〃 第 91 号	都市美形成条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
	〃 第114号	市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	〃	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	総 務
	〃 第115号	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第116号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	〃	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第 87 号	一般会計補正予算（第9号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○ × 1	○	○	○	予算特別
予算	〃 第 88 号	地方卸売市場事業費補正予算（第2号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経済環境企業
	〃 第 89 号	モーターボート競走事業会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	〃
	〃 第110号	一般会計補正予算（第10号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	〃 第111号	国民健康保険事業費補正予算（第2号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	〃 第112号	公害病認定患者救済事業費補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第113号	介護保険事業費補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	議案 第 92 号	指定管理者の指定（市立女性・勤労婦人センター）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総 務
その他の案件	〃 第 93 号	指定管理者の指定（市立地域総合センター上ノ島）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第 94 号	指定管理者の指定（市立地域総合センター神崎）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第 95 号	指定管理者の指定（市立地域総合センター水堂）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第 96 号	指定管理者の指定（市立地域総合センター今北）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第 97 号	指定管理者の指定（市立地域総合センター南武庫之荘）	撤 回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第 98 号	指定管理者の指定（市立地域総合センター塚口）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第 99 号	指定管理者の指定（市立園田東会館）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第100号	和解及び法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文 教
	〃 第101号	訴えの提起（建物明渡し等請求事件及び保証債務履行請求事件）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防防災
	〃 第102号	市道路線の認定、廃止、一部廃止及び変更	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第103号	指定管理者の指定（市立ＪＲ尼崎駅南自転車駐車場等）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第104号	指定管理者の指定（市立立花駅第1自転車駐車場等）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第105号	指定管理者の指定（市立魚つり公園（魚釣施設及び駐車場））	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第106号	指定管理者の指定（小田南公園（軟式野球場、駐車場、園路及び広場））	〃	○	○	○	○	○	○	○ × 1	○	○	○	〃
	〃 第107号	物件の買入れ（追認）（平成27年度使用教師用教科書及び指導書）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文 教
	〃 第108号	物件の買入れ（追認）（令和2年度使用教師用指導書）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第109号	物件の買入れ（追認）（令和6年度使用教師用教科書及び指導書）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
	〃 第117号	指定管理者の指定（市立地域総合センター南武庫之荘）	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総 務
人事案件	議案 第118号	副市長の選任	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託 省略
	諮問 第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦	異議なし と答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
意見書	意見書案 第3号	公営競技納付金制度の廃止に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託 省略
		議員の派遣（議員による出前授業・市立大庄北中学校）	決 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※閉会中の継続審査となった陳情は1件です。
※議案第97号は、議会において本来除斥すべきであった議員の除斥を行わずに進めた議事に瑕疵があることが判明し、その議事手続きの瑕疵を正すため、議案を撤回することについて審議し、許可しました。
※議案第117号は、議案第97号の撤回後、改めて市長から提出があり、除斥すべき議員の除斥を行い、審議しました。
※会派名の下の（ ）は会派ごとの所属議員数です。ただし、採決に加わらない議長（蒼風会）を含みます。

委員会活動報告

第24回定例会

議会運営委員会

議事運営（議会日程、議案の付託先、質問の取り扱い、陳情の取り扱い、議員の除斥、議案の撤回、採決の方法など）、人事案件、議会の機能強化及び改革に係る検討事項、議案書等の個人情報記載、議員による出前授業の実施、市議会議員の請負の状況の公表に関する規程および要綱の制定に係る検討、意見書案などについて協議。

常任委員会

総務委員会・協議会

専決処分報告1件、条例案3件、その他の案件8件、陳情2件を審査、協議事項6件を協議。

文教委員会・協議会

その他の案件4件を審査、協議事項3件を協議。

健康福祉委員会・協議会

条例案1件、補正予算案3件、陳情3件を審査、協議事項2件を協議。

経済環境企業委員会・協議会

補正予算案2件、陳情1件を審査、協議事項2件を協議。

建設消防防災委員会・協議会

条例案1件、その他の案件6件を審査、協議事項2件を協議。

特別委員会

予算特別委員会

補正予算案2件を審査。

閉会中の委員会

経済環境企業委員会

10月29日

陳情1件を審査

健康福祉委員会・協議会

11月11日

陳情2件を審査、協議事項1件を協議

総務委員会

11月18日

陳情1件を審査

その他の委員会

議会改革検討委員会

検討事項「選挙活動・政治活動に係る自主ルールの策

議員による出前授業を実施

令和7年（2025年）1月15日、議員による出前授業を試行的に実施しました。

出前授業とは、主権者教育を目的として、議員が中学校の授業時間（1こま・50分間）を活用し、授業を行うものです。今回の授業では、議員自身がこれまでに取り組んできた活動事例や、議会、議員の仕事について説明し、その後、生徒によるグループワークや質疑応答、まとめを行いました。

今年度は試行的に大庄北中学校をモデル校に選定し、実施しました。今後、生徒などの感想や意見を聴取し、取り組みの参考とします。



主権者教育を目的として、出前授業を試行実施しました。

定」については、協議をこの程度にとどめることと全会一致で決しました。

「視察に係る旅費の在り方」については、協議をこの程度にとどめることと全会一致で決しました。

「常任委員会の調査・研究の活性化」については、協議をこの程度にとどめることと全会一致で決しました。

「資産公開の義務化」については、協議をこの程度にとどめることと全会一致で決しました。

調査活動

建設消防防災委員会

12月27日

年末火災特別警戒激励で消防団地区連絡所等を巡回

ご意見を

本紙についてのご意見、ご感想がございましたら、議事課までお寄せ下さい。

皆さまのご意見をお待ちしております。

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

議会事務局 議事課

☎06-6489-6112 FAX 06-6489-6105

✉ama-gikaidayori@city.amagasaki.hyogo.jp

常任委員長および副委員長の選任について

別府建一議員の辞職に伴い、建設消防防災委員長に欠員が生じたため、第24回定例会において、建設消防防災委員長に丸岡鉄也議員（蒼風会）を選任しました。また、丸岡鉄也議員の建設消防防災副委員長の辞任に伴い、同副委員長に松岡洋司議員（日本維新の会）を選任しました。

今後の議会の日程

今後の議会の日程については
議事課まで
お問い合わせください

市議会の審議の様子は、市議会ホームページでご覧になれます。



市民の皆さま、寒さが厳しい折、ご自愛ください。

（I・M）

新年を迎え1カ月がたちました。市民の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年の6月は市議会議員選挙が行われます。昨年、県議会では、百条委員会が設置されたほか、不信任決議を受けて失職した知事が再選されました。本市議会でも光本圭佑議員に対する百条委員会を設置しました。選挙は市民の利益のために働く議員を選ぶという大切なものだと思います。

編集後記